



苫小牧市立苫小牧東小学校
学校だより

令和5年5月31日
5月号

太陽の子



東小の教育目標

東小の子は太陽の子

- ・進んで学ぶ
かがやく子
- ・思いやりのある
あたたかい子
- ・心身ともに健康な
明るい子

運動・スポーツ(体育)の目的、意義

苫小牧市立苫小牧東小学校 校長 柴田 知巳

6月10日(土)は、運動会です。学校では、運動会特別時間割に入り、練習にも熱がこもってきました。子供たちが汗をいっぱいかき、歯を食いしばって練習している姿、本番で一所懸命がんばる姿を見ると、いつも涙が出そうになります。このような感動は、子供たちのひたむきな姿から生まれるものです。紅白で勝敗を競うわけですから、必ず勝者と敗者がいます。勝つことを目指して必死にがんばることは、最も大事なことです。負けた悔しさに涙が出てくるくらいに、気持ちをこめて全力でがんばってほしいと思います。でも、もっと大事なことは、勝っても負けても全力を尽くすことです。

「がんばることは素晴らしいことだ」「負けても、最後までがんばる姿はかっこいい」、そんな気持ちを子供たちにもたせたいと願っています。苦しくてもがんばったことを認めてもらえた子供は、達成感を感じます。達成感、自信や意欲につながります。そして、自信や意欲を持った子供は、また次の活動で一所懸命がんばり、また達成感をもちます。自信→意欲→達成感→自信・・・というサイクルを経ることで、子供たちは成長します。

このように、運動会は、子供たちの心根を深くし、心の中の土を耕し、肥料を与え、成長させる絶好の機会です。

保護者や地域の皆様の温かい拍手とご声援をよろしく願いいたします。

そして、当日、疲れて家へ帰った子供に対して、最大限のほめ言葉をかけてやってください。どうぞよろしく願いいたします。

子供たちが健やかに成長していく基盤

学校で大切にしている「食育」についての話しです。

まず、学校における食育の要「学校給食」ですが、その始まりは明治22年、山形県の小学校において、弁当を持ってこられない子供のために無料で作ったお昼ごはんとしてされています。それ以来、学校給食は各地に広がっていきましたが、一時戦争によって中断され、戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化から再開が求められ、昭和22年に学校給食が再び開始されました。

その後、子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、平成20年に改正された学校給食法では、「健康の保持増進を図る」「健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養う」「明るい社交性及び協同の精神を養う」などをはじめとした7つの目標が掲げられ、農林水産省でも食育について「食べ物の選択や食事づくりができる」「日本の食文化を理解し伝えることができる」「感謝の心」「一緒に食べたい人がいる[社会性]」など、6つの「食育で育てたい食べる力」を示しています。

これらの目標からおわかりのように、子供たちが健やかに成長していくためには、調和のとれた食事が欠かせません。そして、その基盤となる食育を含め基本的な生活習慣を身に付けさせることが、学校はもとより家庭の果たすべき大きな役割ではないでしょうか。この機会に、子供たちが大好きな学校給食を話題にして、日頃の食事についてお子さんと振り返って下さい。

のど・咳の力ぜが流行っています

連休明けあたりから、高熱、熱はないが咳と鼻水、といった症状で欠席する子供が増えています。コロナやインフルエンザは落ち着いているものの、一旦かかると、それらの症状は長引いてしまう場合もあります。ある病院のHPでは、「寒暖差などの天候変化に体がついていけないことが原因ではないか」とのことでした。また、今年は黄砂の量も多く、黄砂は、目や鼻などのアレルギー症状との関連、呼吸器への影響などが報告されているそうです。

大切なことは、風邪の予防と同じです。規則正しい生活、うがい・手洗いなどが大切です。これから、日に日に暖かくなっていくことも考えられますが、寒暖差や運動会の練習の疲れも心配です。学校でも気を付けていきますが、各学級通信のお知らせや保健だよりにも目を通していただき、ご家庭でも子供の健康を留意していただきますようお願いいたします。

援助希求（えんじょききゅう）という言葉を知っていますか

日本は、「人の力を借りずに、自分で何事も解決できること」が美德とされ、「困った」「助けて」と言いにくい風潮が一部に残っています。しかし、今のような時代、「一人で悩まなくてもいい」という考え方も大切にされてきています。

援助希求とは「助けを求めること」です。誰もがこの考え方が大切です。子供たちには、困ったときに一人で抱え込まず、保護者や教師、仲間に、助けを求めることができるようになってほしいと思います。そのためには、我々教師は、子供たちや保護者の皆様から信頼される存在になること、学級が本心で話すことができる安心の場であることが大切です。

ご家庭でも「困ったら、先生に言ってごらん」とお話してあげてください。また、保護者の皆様や子供たちが困っていることを教えてください。我々もご家庭に相談させていただくこともあります。

個人面談では、様々なお話を聞かせていただきありがとうございます。信頼される学校づくりを進めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

歯科検診を終えて お医者様から

歯科検診を終えたのち、歯科医の先生に状況を伺いました。むし歯がある子供が多く、高学年になるに連れて多くなる傾向があるとのことでした。「歯磨き指導をしっかり行ってほしい。このことについては過保護ということはありません。」と力強く仰っていました。



運動会(6/10)について

先日、運動会のお知らせを配布したところです。主に、駐車場と席取りについてお知らせしました。間もなく、第2報を発行しますので、そちらの内容もご確認いただきますようお願いいたします。



5月のできごと

★1年生を迎える会を実施しました。コロナが5類になったことを受けて、動きのある活動を行いました。1年生はお礼にきつねダンスを披露し、6年生も一緒に踊りました。

日	曜日	行事など
7	水	運動会総練習 5時間授業
8	木	運動会係打合せ②
9	金	運動会前日準備(放課後) 5時間授業
10	土	運動会
12	月	振替休業
14	水	交通安全青空教室(1年) 耳鼻科検診(1、4年)
15	木	小中合同避難訓練(3校時) クラブ②
19	月	教育相談(～30日)
22	木	児童会④
27	火	新体力テスト(3年以上)
28	水	エリア会議 5時間授業